



【校訓】
自主
根性
協同

R4.12.22発行
文責 光山

「前進」の令和4年から「飛躍」の令和5年へ ～80日間の2学期を終えて～

80日間あった2学期も振り返ってみると、毎日の授業はもちろん、一つ一つの行事に精一杯取り組んできた生徒の姿があり、思った以上に早く過ぎたという印象を持ちます。いくつかの行事等を思い出してみると、まず、文化祭の学年発表と合唱コンクールが思い出されます。

そこでは、ハーモニーの美しさや学級のまとまり、学級のパワーをひしひしと感じることができました。うたせ船体験では、芦北ならではの伝統漁法を体験することができ、改めて芦北の良さを感じることができたと思います。職場体験では、仕事の大変さを実感するとともに、学校と違う姿や表情を見せてくれた生徒たちに、将来の姿を重ねることができました。集団宿泊教室は、直前での中止となり、生徒たちには申し訳なく思いましたが、それまでの学習にしっかりと取り組んでくれた一年生の姿を見ることができ、安堵したのを覚えています。また、生徒会役員選挙では、意識と自覚の高まった2年生の姿を見ることができ、頼もしく思いました。

一方、定期テストや学力調査等の試験では、個人個人の取組に違いがあるように感じました。明確な目標を持った生徒は、スポーツに限らず学習でもしっかりと努力し、成果を出すことができるようです。将来の自分のためにも、「知」「体」を高める努力を期待しています。

下の写真にもありますが、芦北高校との交流の一つで、高校生から指導を受け、全校生徒が一人一鉢に取り組みました。春になると、たくさんの花が校舎を彩ってくれると思います。(芦高生に感謝です)

先週実施した修学旅行は、全員参加とはなりませんでしたが、とても学びの多いものになりました。教科書で見た京都・奈良の歴史的遺産を間近に見るだけでも心が揺さぶられ、一言では言い表せない感動がありました。また、集団生活を行う中で、規範意識や公共のマナー等、現地で体験しないとわからない貴重な学びがありました。さらに、夕方の班長会議での振り返りでは、よかったところ、課題を率直に言い合い、次の行動に生かそうとする姿に感心しました。そして、一緒に行けなかった仲間のこと考えた言動が随所に見られ、「徳」の高まりを感じました。これからの佐敷中のリーダーとなる2年生に大きな期待をしたいと思えます。



2学期の総括

2学期の始業式で話した3点について振り返ります。1つ目は、「ウイズコロナ」で、できることをできる限り行うということでした。生徒集会や全校集会、文化祭、生徒会役員選挙等、それぞれに実施上の工夫を行い、感染症対策を行いながら、計画通りの取組ができたと思います。また、濃厚接触者等で登校できない生徒に対するリモートによる授業参加も定着しつつあるように思います。感染症が収束するのが一番ですが、今後でもできる取組を確実にしようという意識が大切だと思います。

2つ目は、凡事徹底で意識してほしいこととして、「校門一礼」と「授業開始」をあげました。「校門一礼」については、生活委員会が「校門一礼」の立札を立てていることもあり、1学期よりも校門一礼の質が高まってきたと感じます。体育館に入る時やグラウンドの前で、なぜ、礼をするのか、一つの行為の目的、意味を考えて実践している人が多くなっている証拠だと思います。もちろん、完全ではありません。生徒の100%の実践を求めて今後も共に取り組んでいきたいと思えます。授業開始については、「時を守る」ということになり、チャイムを使わない本校において、時計をみて自主的に動く生徒、教職員については、まだまだ高める余地があると思えます。今後を期待です。

3つ目は「進路」「将来」について考えを深めるということでした。このことは、職場体験や文化祭コンサート等の体験や、三者面談、教育相談等の対面での話し合いをとおして、一人一人が自分なりの思いをもってくれたと思います。そのことが進路や将来の夢実現につながるかと信じています。今後も生徒一人一人と教職員との対話を大切にしていきます。

3学期も凡事徹底、ウイズコロナで進路実現を目指します。

修学旅行から



京都の旅館を出るときに感謝の言葉を左のような手紙を自主的に書いて出立したグループがありました。このような感謝の気持ちを形に表現できる生徒に感動です。まさに、佐中ブライドです。

2日間、お世話になりました。ご飯がすごく美味しくて、5階に上がるのが毎回楽しかったです。和服を着たおかげで、思い出に残る修学旅行になりました。最後まで、安全に楽しんで帰りました。2日間、本当にありがとうございました。

【あどがき】

昨日(12月22日)は、校内マラソン大会でした。前日から雨模様が続き、中止を想定して大縄跳び大会を計画していたほどです。グラウンドの使用はできませんでしたが、何とか天候も持ち、無事に大会を実施することができました。今回のようにどちらも想定できる場合には、実施を信じて気合十分で登校する生徒だけでなく、密かに登校を期待しながら登校した生徒もいたようです。実際の大会では、参加した生徒全員が、今出せる力を一杯発揮して走っている姿に、心が揺さぶられ、応援する声に思わず力が入っていました。走れなかった生徒もそれぞれに役割を受け持ち、その役目をしっかりと果たしていました。クラスマッチ形式では、2年1組が男女優勝、総合優勝の完全優勝を果たしました。(おめでとー！)

今年度も、安全確保のために多くの保護者の皆さんと佐敷中同窓会の青パト隊の皆さんに多大な協力をいただきました。ありがとうございました。感謝申し上げます。(光)